常磐毎日新聞
日刊
五月卅一日
定價 [illegible]
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
發行所 常磐毎日新聞社
電話 六二〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

十名の子を養育した 兩親表彰さる

銃後の殊勳者として

平市が該當者を調査中

立派な子供を澤山育てたお父さん、お母さんは銃後の殊勳者として今秋厚生大臣から表彰されることになつたので平市でも六月二十日までに該當者を推薦報告することになつた

表彰規程は模範的な優良父母といふだけあつて嚴格を極めてをり、六歳以上の嫡子十名を自分の手で養育した兩親といふ前提のもとに、

(1)十人以上の嫡子のうちで一人でも死亡したもの

(2)他人の手で養育したもの

(3)適俗の嫡子のみあつて兩親双方死亡してゐるもの

はいづれも表彰されないことになつてゐるが例外として戰病死した勇士並に天災地變で失つた子供は特に計算されることになつてゐる

司法保護委員に けふ辭令を傳達

既報平區裁判所管下の司法保護委員辭令傳達式は今三十一日午前十時から平市公會堂で國分檢事正を始め來賓、關係者多數參列の下に擧行された、先づ宮城遙拜して國歌を齊唱支那事變戰病歿英靈に默禱を捧げてから夫々辭令を傳達、次いで福島司法保護委員會長の挨拶並に來賓青沼平市長其他の祝辭、委員總代の答辭あつて閉式したが平、植田兩保護區の參事及び委員は左の如くである

△平保護區（參事）平市長青沼錚太郎、平警察署長渡部勇吉、平刑務所長南條正已、四倉警察署長影山正雄、四倉町長新妻盛（委員）赤井村旭純榮、平區檢事局井田庄一郎、好間村藤內萠信、平市遠藤心光關內正一、大塚保、內鄉上原四郎、湯本須藤熊雄、赤井阿地義隆、四倉金成岩吉、久之濱木村芳陽、飯島助藏、小名濱和田傳吉、飯野山崎条七、夏井鈴木正造、高久箱崎半五兵衛豊間猪狩榮明、湯本小山田滋、江名加澤一造玉川宮內久枝、好間渡邊清、永戸荻野倉太、三阪大竹治右エ門、箕輪阿部友睦、上小川草野正壽、神谷志賀庄三郎、大野久野顯榮△植田保護區（參事）植田町長古川傳一、植田警察署長横田市作（委員）植田町長瀬米次、勿來根本泰三、泉上遠野定次郎、錦町大平菊次郎、渡邊永山定秀、山田秋山藏之助、川部鈴木長治、田人田村孝海、上遠野相川孝道、入遠野折笠繁信、田人油座菊次郎

青沼市長の祝辭

青沼市長の祝辭大要は左記の如くである

司法保護事業は一般釋放者や少年犯罪者、思想犯人の再犯豫防を目的とし刑事政策及び社會政策上極めて重要な使命を有して居り改過遷善、敎化更生の實を擧ぐるに言を俟たぬ處であります、故に從來司法保護事業に關係を有する方々は刑餘者の敎化累犯防止に努力せられ社會の安寧秩序を保持し國家の福祉增進に貢獻せられた事は偉大な功績でありまして洵に慶祝に堪えませんと同時にその勞を多とします、多年聖業に盡瘁せられた各團体は本事業の統制强化を圖る爲め愈に聯盟を組織し更に東北司法保護事業聯盟を結成せられ委員制の實施に伴ひ是れが實行の任に當られるため選任せられました地方有力者たる司法保護委員各位に於かれては本事業の重大な使命に鑑み向後一層の奮勵努力を以て國家の期待に副はんことを切望します

小名濱町の 道路鋪裝 更に延長

小名濱町の道路鋪裝は十五年度工事として西町端まで六百米を延長繼續することになつたが工費は三萬二千圓でうち受益者が七千圓を負擔する

鰹群漸次南下し 磐城沖出現近し

殘留部隊の漁船が 船体の修理で繁忙

野島沖から漸次南下の態勢にある鰹群を追ひ華々しい漁獲戰を演じつゝある石城各濱の漁船は吉報に次ぐ吉報によつて濱を賑はしてゐるが鰹群の石城沖出現も遠くなしと觀測してる殘留部隊の漁船は目下船體の修理船具の手入れに目まぐるしい活躍をなしてゐる、今夏の鰹漁は初漁以來例年にない豊漁にあり漁場の接近と共に濱の水揚は一層活溌となるを豫想され各濱は活氣に包まれてゐる

江名町の各漁船 一萬圓以上の豊漁

江名町遠洋漁船清盛丸、安波丸、盛厚丸の各漁船はいづれも銚子沖合に出漁中三十日トンボ鮪二千尾宛漁獲した旨水試宛入電あり關係者を喜ばしてゐるが各船共一萬圓以上に達する模樣

榮家の寄附

平市田町榮家女將齋藤千代さんは昨三十日廢品を處分して得た金ですがと金十五圓を市銃後奉公會に寄附した

小兒科內科
酒井醫院
◎入院隨意
（電話五五）
醫學博士酒井保
平市字南町

精動參與に 阿部夫人

異彩を放つ

國民精神總動員委員會の改組と共に本縣下の參與を夫夫決定したが平市では青沼市長、諸橋上院議員、篠山平第一校長の三氏の外に縣內女性參與七名中の一人として搔槌小路阿部政右衛門氏のコト子夫人が異彩を放つて居る

大陸の旅を讀んで

小名濱支局通信

支局長 小野務平

曩日知友野澤君が茅舍を訪ね呉れた際一冊の短本を惠み去つた、その短本こそ大陸の旅行平市第一校長篠山廉君の著述に係り野澤君が編輯し發行したるものであつた。

表紙の北京郊外、着想の適正、裝釘の優美、何れも尋常の著作でない事が判る、一度卷を開かば著者の小照、四五頁に盛る現地寫眞、百頁に達する見聞記、編輯と相俟つて紙上に躍動して讀者をして倦怠を生しめざる所に著作者の筆致の妙論を伺はれるのである。

吾人は大陸の旅を讀んでこんな感じを湧かしめた即ち各種團体が事變下慰問、視察と云ふ名の許に大陸入りをするものが決して僅少でない、然し慰問や視察後の報告なるものは僅かに共團体に向つての報告位に止まり偶にい行脚講演會なども聞くが之を冊子に纒めて發刊したものは稀有である殊に關內縣議の滿支視察の旅があるだけで本書の刊行を見たのである、勿論著作者と發行者とは別個の人々に依つて刊行さるる事でもあるから其處に多少の即しない點はあつても講演や座談會で發表するより社會一般人に稗益する所大なるものあるを喜ぶものである。

由來篠山君は縣敎育界に於ける大元老で石城の産んだ至寶的存在である吾人は君が未だ潛龍たる立場にあつた小名濱校首席時代からの知己で當時其鋭芒を蔽び將來今日あるを卜知し得なかつたのは吾人の蒙昧の源由するのであらうが實は驚異的の飛躍であると言はねばならぬ。

此環境に在る君が縣敎育會からの派遣に依つて皇軍將士の慰問、大陸に於ける敎育施設上の視察と云ふ大任を帶びての旅行は、明敏なる君の頭腦の掴きに依つて獲得するものが決して尠少でない事を期待した一人であつた。

果せる哉其視察より得たる大文字は大陸の旅として今日其刊行を見るに至つては篠山君なればこそ此著作が見らるるのであると斷言し得るのであつて、一方部其團体に向つての貢を塞ぐが如きものでなく、然かも自己の環境以外社會一般人に向つても今後人々の觀察上參考となり、指導標となつて如何に稗益するかを窺知する事が充分であらう。

今此書を讀了するに當り前人未踏の策を樹て此の刊行を敢てされた磐城文化協會の野澤君の勞を多とすると共に著作者篠山君に滿腔の敬意を捧ぐる一人である。

（完）

今秋の國勢調査 實施に萬全を期し

早くも平市が準備

時局下の重大性

十年毎に施行される國勢調査は本年十月一日午前零時を期して全國一齊に行はれることになつたが今回の調査は國策の基礎資料を整備することに重大ポイントが置かれてをり申告事項に就いてはこれを公表したり不實の申告或は拒否したりするものには今までにない嚴重な罰則により罰せられることになつてゐるので平市は實施に萬全を期すことになり早くも準備に着手した

所定外に 爆發貯藏

赤井村大字赤井字田中大倉炭礦主井上廉平（四〇）は所定外の場所に雷管四十二本、導火線四十米を貯藏しておいたことをこの程發覺、今三十一日平署に火藥類取締法違反で檢擧された

利子引下

小名濱信組

小名濱信用組合では明一日から利子を左記の如く引下げると

△定期年三分八厘を三分五厘△當座日步七厘を五厘△特別當座日步八厘を六厘

水産强行軍

小名濱水産講習所では三十日豊間村へ全生徒の强行軍を催した

回死亡

△大町一八政吉氏姪八木秀子（四）さん

入團の門出に

銃後へ寄附

平市搔槌小路山木昇君は海軍兵として○○へ入團することになりけふ三十一日朝勇躍平驛を出發したがこれに先立つて今後色々お世話になりますと市銃後奉公會に金十圓を寄附した

平第三校十周年

記念式を擧行して 保護者會から感謝

平第三小學校では輝かしき皇紀二千六百年と同校創立十周年を迎へたので近く記念式を擧行することとなり目下準備を進めてゐるが當日は保護者會から永年勤續職員その他に記念品を添へ感謝狀を贈る筈である

舊竪坑の 排水完成

古河に凱歌

去る昭和二年坑內出水に見舞はれて遂に廢坑の止むなきに至り坑內の諸設備並に企業費を加へて五百餘萬圓の損害を蒙つた好間村古河炭礦竪坑はその後會社側において復活を企て竪坑の後方へ大斜坑を卸して排水の傍ら採炭に着手し過ぐる炭礦不況時代も功に切抜けて現在は增産報國に邁進しつゝあるが、最近舊竪坑の一部排水が見事に完成するに至つたので鑛業所では閉塞してゐた竪坑の人道坑を十三年振りで開き舊坑內の整備に手を染めた、坑內からは十三年間も水浸しとなつてゐた軌道、炭車、排水ポンプなど續々搬出されてゐるが何れも再使用可能なので資材難の折柄竪坑復活と共に二重の喜びを迎へて全山從業員は凱歌を奏してゐる

女教員關西視察

敎育部會の人選決定

既報石城郡敎育部會では六月中旬女敎員を關西方面に派遣し敎育視察を行はせることになり人選中であつたがこの程左の如く決定した

△小名濱校高木セイ△四倉校新妻ツネ△草野校渡邊トキ

四倉繭市場は 六月卅日頃開場

本縣春繭取引のトップを切る石双乾繭組合聯合會四倉繭市場は六月廿日頃初取引の豫定で早くも誘繭資金廿萬圓の融資方を中央金庫へ申請一切の準備を進めてゐる

四倉鷄鳴會

四倉町鷄鳴會では六月十日午前八時から町役場で赤ちやん大會を開く

二毛作品評

夏井村二毛作品評會の審査は來る六月三日郡農會から柴田技手出張行はれる

傷害致死

懲役二年に

既報懲役三年を求刑された平市新川町生れ內郷村字竹ノ內炭礦坑夫酒井龜太郎（三二）にかゝる傷害致死事件の判決公判は三十日平支部で開廷されたが菅間裁判長から懲役二年を言渡された

平市人事

回出生

△鎌田町三七、目下東京市荒川區南千住六ノ一九〇、鈴木利雄氏三男勉君

回婚姻

△東京市王子區中十條二八西山要三（三〇）氏と九品寺前四二松崎賓枝子（二六）さん

ラヂオ

今晩の部

▽後六、〇〇 子供の時間 お話と錄音「五月の出來事」關屋五十二

▽後六、二五 講演「科學界のトピック」工學博士內田壯

▽後六、四五 産業ニユース

▽後七、二〇 鄉土に寄する言葉（錄音）東京新聞体操（指導員）江木理一

▽後七、三〇 國民歌謠

▽後七、四〇 中支より

▽後八、〇〇 ヴアイオリンと管絃樂（ヴアイオリン）辻久子 日本放送交響樂團

▽後八、三〇 錦風流尺八 齋藤周藏外

▽後八、三〇 詩吟と尺八（詩吟）藤田秋醒（尺八）畠山浩藏

▽後八、五〇 尺八獨奏 島貫辰柳、輪島如水

▽後九、〇〇 詩吟 新田京作

▽後九、一〇 時事解說

明日の部

▽前九、四五 幼兒の時間 お話と唱歌「朝のひとき」西本願寺アソカ幼稚園兒

▽前一〇、二〇 家庭の時間「時局下に必要な雜食混食」陸軍主計少將丸本彰造

▽前一一、五九 時報「默禱」正午

▽後〇、〇六 土曜コンサート 響和管絃樂團

▽後一、三〇 東京大學野球聯盟春季試合實況 明治神宮外苑野球場より中繼

▽後三、〇〇 婦人の時間「興亞奉公日體驗談」鹿兒島縣伊集院町婦人會々長黑江ヨネ外

▽後六、〇〇 子供の時間「伸びて誇らう」小坂信也

▽後六、二五 傳統の産業を語る（五）「筑前の博多」織福岡縣工業試驗場長野田俊郎外

▽後七、二五 鄉土に寄する言葉（錄音）海軍主計中將佐々木重藏

▽後七、三〇 國民歌謠

▽後七、四〇 講演

▽後八、〇〇 講演「興亞奉公日に際して」仙臺商工會議所會頭中村梅三

▽後八、一〇 講談「倉橋傳助」一龍齋貞鏡

▽後八、四〇 戰況月報（湖北の戰野を征く）淸水將夫外

▽後九、〇〇 義太夫「加賀見山舊錦繪長局の段」（淨瑠璃）竹本土佐太夫（三味線）野澤吉兵衛

銃後の護りは……先づ健康から
如何にして難病を征服すべきか
工學博士藤山常一先生發明
世界七ケ國專賣特許
磁氣放射 マグネタイザー
適應症
高血壓、中風、神經痛、ロイマチス
胃腸病、痔、肋膜炎、婦人病
小兒癇癪、蓄膿症、喘息其他
種々の療法を試みても捗々しくない御方はスグ一度御試驗して下さい。從來の電氣の如くビリする不快な感じは絶對になく、お召物の上から誠に氣持よく、しかも大衆向料金で叮嚀に治癒致します。
午前八時より午後九時まで
（毎月第一日曜休業）
平市二丁目三十一番地
（元專賣局跡）
最低の料金 最高の効果 主義
平磁惠院

專門
花柳病科
婦人科
産科
▽入院隨意
井坂醫院
平市田町 電話五五九番
◎見習看護婦募集

華道會員募集
初心者を標準として專問研究者並に敎授者の爲に華道に關する理論及技術の大要を確實に習得せしむ
敎授科目 生花、盛花投入、立華日本華道流儀 華道眞理、實地揷習解說、傳書講義
時間 毎週日曜午前九時より正午迄 夜間部もあり
場所 平市田町五〇番地 （市役所西 三光館横となり）
―尙御希望に應じ出張敎授致します―
池坊華道
先崎翠峰敎授場

X光線科
外科內臟外科
院長 安齋徹
―新設―
▽入院隨意△
平市田町
安齋醫院
電話四五七番

松井勇劍傳

第八十七回

民次郎の逗留

世に女ほど恐るべきものはございません。昔から婦人の爲めに一生を誤つた人は數くございません。小野田作之進、おとみの言葉作を[illegible]はし氣に 作「松井先生。これは愚妻とみと申しまする、お見知り置かれたく」民「御新造でございまするか、手前は松井民次郎と申する者。此の上は[illegible]らぬ御縁で末々と御厄介に相成ります」と「アラそんな事、些つとも御遠慮には及びませんね、良人は誰方だつてそうですよ、そして出立と云ふ時は極つて御用の、無心で、ホントに困つてしまひますわ」民次郎も驚いた。作之進が苦り切つて 作「モウ良い、那方へ退つて居れ」と、[illegible]さけて 作「松井氏定めて御呆れなされた事でござらう、實は拙者もホト〳〵持て餘して困るやうな始末、まア〳〵一獻召上れ」

杯を献して此の作之進の話す處を聞いて見ると、作之進は以前因州鳥取の藩士、浪人して諸國を武者修業に廻つたが圖らずも此の土地へ參り、名主が武藝を好む所から五日十日を逗留して居るうちに、フト病氣に罹り、及そ一年村の者に大層に世話になつた、その親切で病氣は癒つた、けれども其の恩に報いる事は如何にも術に於て忍び難く、又村人も勸める處から此處に足を留め、道場を開いたが附近の若者や又は白河藩中でも[illegible]入門する者が日々に多く、今では此處に道場を開いて早くも二十年、門人も七八十人あり生活には困るやうな事もなくウカ〳〵と暮して居ると四五年前の事、獨身では萬事に不自由であらうと云ふので村の者が頻りと勸め、娶つたのが今のおとみ、何分年も大層違ひ、百姓育ちの娘と武藝者とは肌合ひが合はず、娶つたもの、困つたものだと思つて居ると云ふのでございます。民次郎これを聞いてスッカリ了解が就いた、然し只一つ不思議なはおとみは百姓育ちと云ふが百姓育ちにしては何うも垢拔けた處がある。然しそれとても他人の女房、別に聞き立てゝ聞くにも及ばぬ事と[illegible]にも留めず悠々と四方山の話しをしながら作之進の樣子を見て[illegible]と、作之進は如何にも武藝者らしい、灑落な氣象、年は違ふが民次郎とは話しがよく合ひます。俗に云ふ意氣合ひと申しますが、兩人共に既に興味を覺えて時の經つを[illegible]れるくらゐ 民「時に小野田先生、御厄介に相成りまする序でにて一本の御敎導に預りたく」作「イヤ何うして[illegible]田を拙所ながら拜見、[illegible]お若いにも似ず[illegible]したしたが[illegible]」民「お褒めに預り[illegible]」[illegible]相手仕まつる。まあ當分は涼みがてらに手前の方で御逗留なされ、所謂な片田舍なれど、何處で聞いて來るか、時々な修業者が訪ねて參り、困ながらに修業は出來まする」民「有難い仕合せ」と引留められるまゝに又もや其の日は作之進の道場で逗留した。明けて翌日民次郎作之進と試合致しましたが勝敗民次郎に取つて怖るべきものではないが、流石多年の手際だけあつて實に見事に使ふ。先づ是だけの人は多くあるものではない、斯る田舍に生涯埋もれさせるんではないかと思ひました。作之進は又民次郎の腕前を見て大いに驚いた。

作「松井先生恐れ入つた。若人などの遠く及ばぬ所、お若いにも似合ずよくそれまで御修業なされました」と云つて褒める。これで次第々々交はりが深くなつて作之進の方では頻りと引止める。又、民次郎と致しましてもそれを振り切つて出立する事も出來ず。ツイ居心地がよい儘に三日四日と足を停めて居る中に、作之進の女房おとみ。民次郎へ對して妙な態度をする。從來婦人と云ふものを振り向いて見た事のない民次郎、何のためにおとみが民次郎に對して妙な態度をするか解りません。ヘテナ合點が付かずに困つたが、御新造は民次[illegible]みでもあるかなと思つて居ります。

家庭と女性

……小ばなし……

「どうして獨逸はスエーデンを占據したんだらう」

「スエーゼン食はぬは男の恥といふもの」

雜草

森谷とみ子

「草を喰ふ會」といふのが催されると聞いて參加してみました。別段食糧問題に期待をかけたわけでもなく、ただ國寶金銅佛で名高い武藏野の古刹が會場で、季節は四月初旬、野の草の素朴な香りに心ひかれたまゝでした。行つて見ると本堂の二間つづきの廣間に、男女、子供、五十人あまりが四角に座つてゐます。今から四五年前、私の住む町で植物に興味をもつ人々が雜草會といふのを作り、草の名を覺え培養し、食用藥用の研究などをやつたことがありましたが、それらの人達の顏もみえました。やがて膳が運ばれてきました。箸は生木の枝を伐つたもの。御飯はとみれば、きみの混飯でした。ハコベのおひたし、カンザウとツクシのぬた、タンポヽのつくだ煮など決していかものに類するものではなく立派にお惣菜として通用する風味でした。古來木の芽草の芽は精力がつくといはれ「血のくすり」などと稱されてゐました。私達主婦こそ、もつと切實な關心を雜草に向けるべきではありますまいか。むかしの祖先の血となつた、田ぜり、ヨメナ、アザミ等々の豐富な榮養素は、多分、この苦難に堪へてゆく時代の私達の血をも肥やしてくれるにちがひないと思ひます。

報國債券買ひ方の秘訣

一萬圓當つたら？

…と餘り眼の色をかへぬ事…

いよ〱賣出されました

◇……拾錢で當る一萬圓の夢――報國債券がいよ〱賣出されました。五圓券でも五千圓といふまさに一かく千金の話だが同じ買ふならなんとかして當籤率の多い方法を、と思ふのが人情でせう。若しも當籤しないとすれば、十年經つても十圓券は金七十錢也、五圓券は金三十五錢也の情ない割增金だ

◇……それも最後まで手離さず郵便局か日本勸業銀行に保管を委託しておかねばもらへない――といふ一萬圓にくらべるとぜん〱雲泥の差である。そこで、何かモダン富くじの買ひ方はないかと日本勸業證券株式會社の企畫課長荒尾哲氏をお訪ねしてみた。

「むかしえらい富豪が、富を得るの秘訣は「運、鈍、根」といつたが、それと同じコツですね……つまり富籤にしても第一が運 運がなくては當りませんぞ、その次がどん、あまり眼の色をかへて、寢ても醒めても一萬圓では、神經衰弱になるくらゐがオチであります、それから根です、第一回の抽籤で當らないからとは惜しがつて賣り飛ばす、新しい籤のやつを買ふ第二回

◇…抽籤でもだめ、どうも番號が四九七一だからヨクナイのだらうと又賣り飛ばして二九二九とかつてみるが必ずしも當は來ない十年間、賣らずにぢつと持ちこたへてゐる根氣が最後の勝利といふわけであります、それが、また國策の線に沿ふ所以でもあります」

これが荒尾さんの序論である。

「第一回は十圓券二百萬枚、五圓券百萬枚、總額二千五百萬圓で、これを兩種とも十萬本を一組とし每年一回の抽籤ごとに十圓券は一組につき一等一萬圓（一本）二等一千圓（二本）三等十圓（第一回は二千八百本、ただし三等にかぎり每年本數がちがふ）五圓券は一等五千圓（一本）二等五百圓（二本）三等五圓（二千八百本、ただしこれも每年ちがふ）の

◇…割增 金があり、抽籤は十年間に十一回行ひます これを一組についていへば、十圓券十萬本卽ち百萬圓について、十年間に三十八萬圓の割增し金、五圓券十萬本卽ち五十萬圓について十九萬圓の割增金がつくわけですからわるくありませんな

だから早い話、百萬圓を投じて同組全部かふとすれば、十年間に百三十九萬圓になつて返つてくるわけです、ところが、そんな不公平な買出しはしませんから、そこは御安心ねがひます

いやしくも報國債けんといふ以上國民の一人一人が一枚づゝ買ふこれが報國の精神だと思ひます

買ひ占めておけば値がでるといふ

◇…思惑 をやつてゐる人があるかも知れませんが、そんな不合理なことがないやうに研究されてをります

これまで債けんに當籤した人達の話しを綜合すると、たくさん買つてもつてゐる、さうするとたいてい忘れたころになつて當つたといふんですね、つまり、どんと根、それから、一すかつて、途端にあたつてアッと驚いた人もあります。これはもつぱら運だけですな

しかし、強ひていへば債けんの買ひ方には二つの方法があるやうです

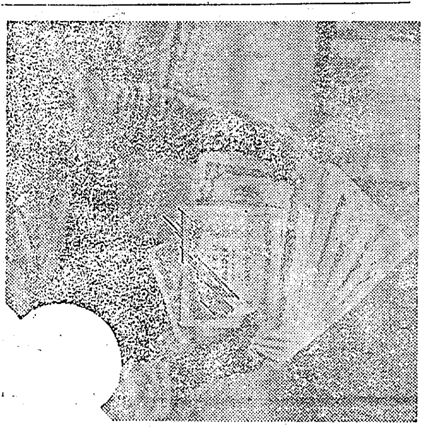
一つは、同じ組の債けんをなるべくたくさん買ふ、横にずうつと番號を亙るやり方ですね、あたつても一組內の割增金です

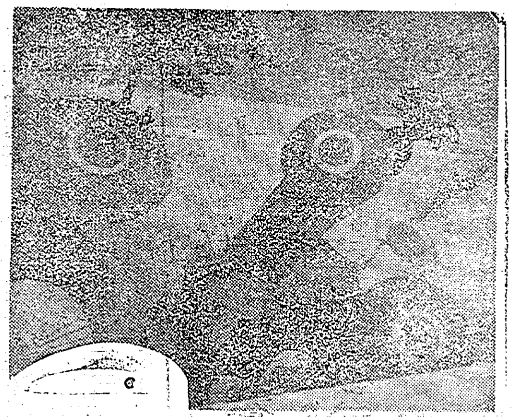
もう一つは、これとは反對に異なつた組の同一番號を

◇…縱に 買ふやり方です、これは當るチャンスはすくないが、一朝當るとすれば大したものです十圓けんの一等にあたれば一擧にして二十萬圓ころげ込むのですから、これこそ一かく千金型であります

横と縱の買ひ方のいづれがいゝかつて？そんなことがはじめからわかるくらひなら、賣り出す方で買ひたいくらゐですよ、第一、さういふ確なコツがあるとすれば、君も記事なんか書かないで、こつそり買ふんぢやないんですか？これは冗談――

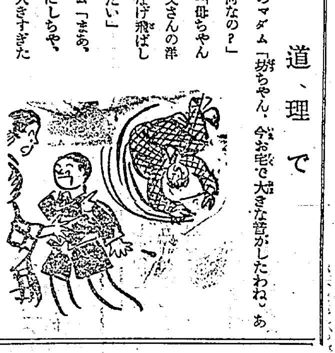
さうです、債けんを買つたなら愛煙家がぼんやり紫煙の行く手をながめてゐる、あの心境でチャンスを待つてゐる「待てば海路の日和かな」です。かつた以上は賣らずにぢつと待つてゐる、賣つてしまへばそれまでゞすよ」





春雨

道、理で



隣家のマダム「坊ちやん、今お宅で大きな音がしたわね、あれ、何なの？」

坊や「母ちやんがお父さんの洋服をなげ飛ばしたんだい」

マダム「まあ、それにしちや、音が大きすぎたわね」

坊や「だつて、その洋服の中には、お父ちやんが入つてゐたんだもの……」

外米の話

榮養價は內地米と同じ位

よく嚙む事が大切

・ボロ〱の外米御はんをたべて、下痢をおこす子供がめつきりふえて、小兒科のお醫者さんの許へ訴へにくる母親もたくさんあると云はれてゐますが、外米の榮養價は一體どう云ふものでせうか慶大教授大森憲太博士の話を聽いてみませう。

子供や病人に對して外米にしたからと云つてさう大した變化は無いはづですが、炊くとボロ〱になりますから、子供や胃腸病の人たちには餘り適當だとは云へません。病人については、醫者、看護婦等附添の

・重病人 には今までもさうですが、內地米の白米が特別にゆるされてゐますが、胃腸病の人たちには白米がゆるされてゐません。外米の榮養價は分析の上から見ますと、蛋白質、脂肪、含水炭素等大まかな分類では殆ど內地米と大差ありませんが人間の食物となる場合は一概に榮養價ばかりも論じられず、味と云ふ點も大いに考慮に入れる必要があると思ひます。味と消化とは非常に密接な關係がありますが、內地米で九八、九パーセント吸收されるものは、外米ではせい〱九七、八パーセント位の

・吸收率 になりますから、その影響はきわめてわづかなものです。もと〱內地米は軟質のもので外米は硬質ですからボロ〱するのはあたり前の話です。次に外米のたべ方ですが、外米の精白してない場合は今まで通り七分搗米、胚芽と同じでよいのですが精白の場合はヴイタミンが不足しますから、豆類なら大豆、小豆、そら豆、えんどう、野菜類ではにんじん、トマト、キャベツ、果物ではリンゴ、みかん等を攝つてヴイタミンを補充する必要があります。ボロ〱のごはんですから咀嚼の點も大いに改めなければなりません。

・朝と夜 の食事時間は正味十分から、十五分位ですが、これを二十分から二十五分位かけるやうにします。朝の食事や晝がおべんとうの場合は大抵十分位ですからこれを十五分位にします。少し胃腸の弱い人は食後三十分位運動も何もしないで安靜にしてゐた方がよいでせう。

……消ゴムの若返り

學校で使ふ消ゴムは品不足です。からどんなに小さくなつてもすてずに使ふことが肝要です。固くなつても役に立たなくなつたり餘り汚れたりしたものを若返らせて、しまひまで使ふため消ゴムの若返り法をおすゝめします。藥局で炭酸ソーダをすこしかつて二十倍の水にとかしその中へ消ゴムを十分位つけておき取出して水洗ひし乾かせばどんなに固くなつたものでも新品と同樣に使へます。炭酸ソーダ溶液はいつまでも保存しておけます。

良い名をつけると赤ちやんが丈夫に育つ

姓名學の本無代進呈

名前が惡いと病弱短命となる、愛兒には良い名をお付けなさい。この際送料切手十錢封入申込者に限り素人でも判る、『名前のつけ方の本』と開運新聞三ケ月分もタゞで送つて差上げます。

申込所 東京市澁谷區圓山三

日本正統運命學會本部

大聖房

時局小說 驀進

上演映畫化決定

北野 [illegible] 作

士別 [illegible] 描

第百六十回

ある秘密（四）

麗子は內儀と行夫を急がせて病室へ急いだ。中は[illegible]にシンと靜かである。

彼女は二人をドアの外へ待たせて一人で中へ這入つてから、[illegible]の外に[illegible]醒めると[illegible]いで二人を招き入れた。好枝は早く我子の姿を見つけたが何も云ふことが出來ないでゐた。

「まア〱どんなにおやせなされて」

內儀が挨拶するのへ微かに頷きながら、好枝の眼は我子の顏からポッと離れなかつた。

「まア、行夫ちやんお母さんに御挨拶して」

內儀にさう云つて行夫を好枝の側へ押しやると、好枝はあわてて白い布團の襟で顏を蔽ひながら、傍へ寄つては不可ないと首を振つた。自分の病氣を我子に感染させてはならないと思ふ母性愛であつた。

「麗子さん、有難う、お蔭でやつと」

然しその聲は殆ど聞きとれない程低く、咽喉がかすれてゐた。

麗子はドキリとした。最早この狀態では後幾時間も保たないに違ひない、而も手當はしつくしてしまつてゐる、この上は靜かにその最後を見守つてやるより仕方がないのだ。

「吉野を呼んで――」

麗子は微かにそれを聞きとると急いで應接室へ入つて鐵吉を呼び出した。

「好枝です、好枝さんが――」

彼女は胸が迫つて後を續けることが出來なかつた。

死の最後までも濁世の苦しみを胸に秘めてゐた友と、何も知らずに一途に飛んで來る鐵吉のことを思ふと、只この世の不可思議な運命といふものに、泣けてくるのであつた。

（二人共お氣の毒だわ。いゝえそれよりも何も知らない行夫ちやんが可哀想だ）

麗子が病室へ戾つて來ると、好枝は麗子を傍で呼んで

「あの人に默つて歸つて下さい」

彼女は早速內儀を廊下へ連れ出し、子供は後から連れて行くからと云つて彼女を歸した。內儀を歸す時に麗子は、

「行夫ちやんも歸る？」と訊くと行夫は首を振つて歸らうとしなかつた。

夕陽がかげつたので麗子は窓のカーテンを引きながらふと鐵吉が[illegible]やうにして門內へ入る姿を見つけたので、何氣ない顏をして廊下へ出て行つた。

鐵吉は二階の階段を上つたところで、麗子に呼び止められた。

「好枝さんにお會ひになる前に、どんなことがあつても驚かないこと、あの人を安らかに眠らせて上げることを約束して下さい」

と麗子は云つた。

鐵吉は怪げんさうに

「どんなことか知りませんがお約束しませう、だが一體どんなことですか」

「それは、あの人に過去の不幸な過ちがあつてそれを貴男に隱蔽してゐたといふことです」

「えッ好枝に？」

鐵吉は思はず息をつめた。

「えゝ、あなたにだけでなく私にも今日まで話して呉れなかつたのです、あの人は、もう助からないと覺悟して、何も彼も打明けて話したのです、あの人の過去の不幸を聞くと、惡いと知りながらも折角の幸福を毀すことが怖ろしかつたといふ氣持がよく判りますわ、それでどうしてもそのことを口にすることが出來なかつたのださうですわ」

「……」

鐵吉は返事もなく呆然と立つてゐた。

「今になつて、それは聞きたくなかつた」

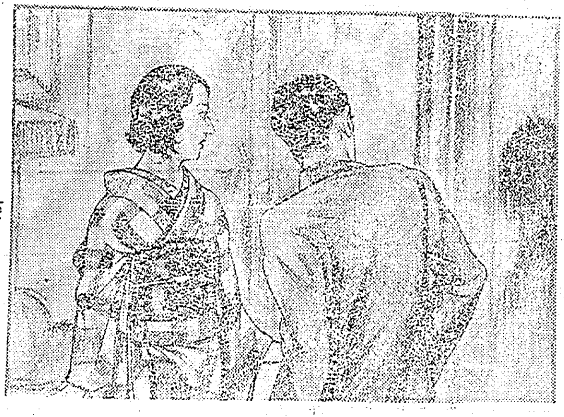
鐵吉はうめくやうに云つた。

「いゝえ、あの人の良心はそれを許さなかつたのです、只一言詫びて死にたいと、云つてゐました。それに――その子供があるのです」

「子供が――」

「その子供を私が先刻連れて來ました、さア何も云はないで」

麗子はドアを開けた。



花柳病科外科

木村外科醫院

平市南町（警察署通り角）電話三〇九番

吉田眼科醫院

平市紺屋町

電話八六番

食事 喫茶 酒場を兼ねた

レストラン サロン

營業時間

開店…午前十時

御食事は午前十一時より

閉店…午後十一時半限り

平市銀座街

電話五九二番

カメラと用品

現像引受

お用命は

西村屋藥局寫眞部

平2・電3

小瀧の

いちご園!!!

◎いま出盛りです 御來園下さい

〔なるべく容れものを御用意下さい〕

割烹

花村

平市田町 電話四番

◎女車掌（三名至急募集）

1、未經驗者ニ限ル

2、委細面談

3、優遇ス

平市三丁目

三井タクシー

電六八五番

鐵管代用 エタニツトパイプ

	耐壓封度	內經	一本ノ長サ	一本ノ價額	ボルト繼手代
D級	250	50mm	3m	4.72	2.90
〃	250	75	3	6.97	3.50
B級	100	100	3	7.90	6.25
〃	100	150	4	17.70	9.20

平市仲町通り

山田文一商店

電話262番

お醬油はヤマフル

醬油味噌 たひら正宗 鰹節食料品

釀造元 鹽屋

福島縣平市

電話一〇 二七番

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

貝燒と"美味しい"みりんぼし

『鰹節製造販賣』

魚問屋

志賀盛榮商店

平市四丁目（電話二一三番）

日本生命平代理店

毛類のお洗濯に

モノゲン

毛類は大切

今着てゐる毛類を、明年も明後年も御役に立たせるには、ぜひモノゲンで正しい洗濯が肝要！

石鹸質を含んだ擬ひの洗劑使へば哀れ毛類の命ご愼しと思召せ

市內有名店にあり

代理店

平二、電五二

㊣ 中野洋品店